

# 川崎の直翅類 (追加記録)

The orthopteran insects of Kawasaki (Supplementary report)

雛倉正人\*

Masato Hinakura

\*特定非営利活動法人かわさき自然調査団 昆虫班

Insects Research Group, Kawasaki Organization for Nature Research and Conservation

## はじめに

今回は、前回の第7次川崎市自然環境調査以後、筆者が市内で新規に確認した種、記録の少ない種の新たな産地について報告する。また、6次調査(雛倉・坂本, 2007)で報告し、7次調査(雛倉, 2011b)で引用した種に1種誤りがあることが判明したので、謹んで訂正したい。

## 調査方法

かわさき自然調査団の筆者と山本晃氏、および川崎市青少年科学館(以後科学館と略)職員の川島逸郎氏が収集した標本、科学館に入っていた過去の未発表標本、および筆者撮影の生態写真・筆者録音の鳴き声(電子ファイル)を用いて、市内の直翅類の記録をまとめた。川崎市新記録種は☆で示した。標本はすべて科学館に保管されている。同定は、特に但し書きがないものは、筆者が行った。種名・配列については、日本直翅類学会(2006)および市川(2011)に従った。前報告と記録が重複する産地については原則省略したが、標本を伴う記録が従来無く今回標本を確認したものは、普通種であっても収録した。また、希少なため経過観察が望ましいと判断した種については、産地が重複しても記録を掲載したことがある。

## 調査結果

### カマドウマ科 Rhabdophoridae

カマドウマ *Atachycines apicalis apicalis* (Brunner von Wattenwyl) ☆

1♂, 麻生区上麻生, 17-VIII-2010, 雛倉正人採集。

自宅のアパートに飛び込んできたものを採集した。家屋周辺に生息することも多いので、他の地域から見つかる可能性がある。

### キリギリス科 Tettigoniidae

ヒガンシキリギリス *Gampsocleis mikado* Burr

1♂, 川崎区東扇島, 24-VII-2010, 雛倉正人採集; 1♂, 高津区久地多摩川, 11-VII-2015, 雛倉正人採集。1♂, 多摩区中野島多摩川, 14-VII-2012, 雛倉正人撮影; 1♂, 多摩区生田緑地, 12-VII-2014, 川島逸郎採集。

7次報告書で本種が東扇島の埋め立て地にいることを速報的に生態写真で報告したが(雛倉, 2011a), 科学館改築などが重なって標本の収容が遅れたので、改めて記録しておく。また、多摩川と生田緑地でも新たに確認された。生田緑地の個体は科学館前の中央広場周辺で偶然得られたもので、放逐の可能性が高い。一方、多摩川の堤防や近傍の草地では、コバネヒメギスに混じって多数の本種の鳴き声を聞くことができ、多摩川のキリギリスは、現在においても健在であることがわかった。

コバネヒメギス *Chizuella bonneti* (Bolívar)

1♀, 麻生区はるひ野, 11-VIII-2010, 雛倉正人採集。

従来多摩川の記録しかなかったので、丘陵地の記録を追加する。

クサキリ *Ruspolia lineosa* (Walker)

1♂, 麻生区はるひ野, 11-VIII-2010, 雛倉正人採集。

近隣の東京都多摩ニュータウン地域に、近似種ヒメクサキリ *Ruspolia dubia* (Redtenbacher) の記録があり(和田, 1984), 探したが発見できなかった。

オナガサキリ *Conocephalus exemptus* (Walker) ☆

1♂, 麻生区はるひ野, 26-VIII-2010, 雛倉正人採集。

ススキ草地に生息する種であるが、住宅地内の道路際で草が生えているような場所で夜間見出された。コバネヒメギスとクサキリも採集状況は同様である。当地は開発前には緑豊かな里山であり、住宅地近傍

にこうした種が生き残っているのは、興味深いことと言える。

イズササキリ *Conocephalus halophilus* Ishikawa  
1♀, 川崎区中瀬多摩川, 15-IX-2014, 雛倉正人撮影  
(図 1).

海に近いヨシ原に生息する種で, 7次報告書 (雛倉, 2011b) で当地の標本を伴う記録がある. その後国のレッドリストの見直しにより情報不足 (DD) に選定されている (環境省, 2015). 今回, 夜間にヨシの穂を食べているところを発見し, 生態観察の一環として記録するものである. 日中は発音するが, 敏捷にヨシ叢に隠れるので, 姿を見るのも容易ではない.

ハヤシノウマオイ *Hexacentrus hareyamai* Furukawa  
1♂, 麻生区万福寺さとやま公園, 14-VIII-2013, 雛倉正人撮影.

最近開発された街区内の公園であるが, 本種は夜間雑木林のアズマネザサ叢に多く見られるようである.

#### クツワムシ科 Mecopodidae

クツワムシ *Mecopoda niponensis* (de Haan)

1♂, 麻生区古沢, 29-VIII-2014, 雛倉正人撮影. 1♂, 麻生区栗木, 21-VIII-2015, 雛倉正人撮影・鳴き声多数.

古沢の産地は, 2012年の病院建設に伴いかなり周辺環境が変化したが, まだ生息しているようである. 市内では希少種であるため, 近年の記録として収録しておく. 栗木の産地は, 通学路に LED 照明が付き, 暗闇を好むとされる本種が強烈な灯りのもとで鳴いていたので, 生態観察の一例として記録するものである (道路脇の雑草の茂みで盛んに鳴いていたが, 撮影個体はクズの葉を摂食していた).

#### ツユムシ科 Phaneropteridae

アシグロツユムシ *Phaneroptera nigroantennata* Brunner von Wattenwyl

1♀, 多摩区生田緑地, 26-IX-2014, 川島逸郎採集.

サトクダマキモドキ *Holochlora japonica* Brunner von Wattenwyl

1♂, 川崎区東扇島, 21-VIII-2010, 雛倉正人採集.

1♂, 多摩区生田緑地, 25-IX-2014, 川島逸郎採集. 1♂, 同所, 30-IX-2014, 川島逸郎採集.

臨海部からは初めて記録された. 樹上性ではあるが, 人工的な植栽地にも生息しているようである.

ヤマクダマキモドキ *Holochlora longifissa* Matsumura et Shiraki

1♀, 多摩区生田緑地, 25-IX-2014, 島田秀雄採集.

科学館館長を務められている島田氏が, 科学館裏で死にかけていた個体を拾得したとのことである. 本種は東生田 (向ヶ丘遊園跡地) でも筆者が記録したが (雛倉・坂本, 2007), 生田緑地には2種のクダマキモドキが生息していることになる.

#### マツムシ科 Eneopteridae

マツムシ *Xenogryllus marmoratus marmoratus* (de Haan) ☆

1♂, 麻生区上麻生, 19-IX-2014, 雛倉正人録音.

1980年代の栗木地区の環境アセスメント資料を除き文献記録がなく, 市内から絶滅したと思われていたが, 局所的に複数の鳴き声を確認し, 道端の茂みで録音することができた (人目につきにくい場所で鳴くため, 野外での姿の確認は易しくない). 場所は新百合ヶ丘の中心街に近い法面で, ヒゲシロスズやショウリョウバッタモドキも付近に生息している (雛倉, 2011b). スズムシに比べると飼育されることが少ないことから, 人為的要素と断定はできず, どのような経緯で狭小な場所に生き残ったのかは不明である. 2015年8月20日にも同所で鳴き声を確認しており, 土着していることは間違いない.

アオマツムシ *Trujalia hibernis* (Matsumura)

1♂, 多摩区生田緑地, 30-VIII-2014, 川島逸郎採集. 1♀, 同所, 5-X-2014, 川島逸郎採集.



図 1) イズササキリ.

ヨシの穂を摂食している個体. 護岸から見て干潟の地表は低いいため, 丈のあるヨシだけが観察しやすい.

ヒロバネカントン *Oecanthus euryelytra* Ichikawa

1♂, 川崎区東扇島, 19-VII-2015, 雛倉正人採集. 1♂, 高津区久地, 9-IX-2011, 伊藤 元撮影.

埋め立て地の植栽帯や雑草群落において夜間鳴き声を多数聞くことができ、珍しい種類ではないようである。また高津区の撮影記録を今回収録でき、比較的内陸まで分布していることがうかがわれる。

#### ヒバリモドキ科 Trigonidiidae

クサヒバリ *Svistella bifasciata* (Shiraki)

1♂, 麻生区上麻生, 1-IX-2010, 雛倉正人採集.

筆者の自宅付近の林縁でクモの巣にかかっていた。

ウスグモスズ *Amusurgus genji* (Furukawa)

1♂, 多摩区生田緑地, 14-IX-2014, 川島逸郎採集; 1♀, 同所, 4-IX-2014, 川島逸郎採集.

マダラスズ *Dianemobius nigrofasciatus* (Matsumura)

1♂, 多摩区生田緑地, 13-VIII-2014, 川島逸郎採集; 1♀, 同所, 29-VII-2014, 川島逸郎採集.

カワラスズ *Dianemobius furumagiensis* (Ohmachi et Furukawa) ☆

1♂, 麻生区はるひ野, 31-VIII-2010, 雛倉正人録音.

駅の線路の敷石で鳴いている個体を、ホームで録音することができたので、追加種として採用する。

#### ケラ科 Gryllotalpidae

ケラ *Gryllotalpa orientalis* Burmeister

1♂, 川崎区東扇島, 27-IX-1986, 採集者不明. 1 幼虫, 同所, 28-V-1987, 採集者不明.

埋め立て地にもケラが生息していたことを示す貴重な記録である。録音はしていないが、夜間ヒロバネカントンの声を聞いた折、土中から声を1例確認しており、現在も生息していることは確実である。

#### ヒシバツタ科 Tetrigidae

ニセハネナガヒシバツタ *Ergatettix dorsifer* (Walker)

1♀, 多摩区堰多摩川, 13-V-2012, 雛倉正人採集・内田正吉同定.

春に採集される個体は特に表面が砂粒状にごつごつし、砂礫地に生息する本種の特徴を現している。

ハラヒシバツタ *Tetrix japonica* (Bolívar)

1♀, 多摩区堰多摩川, 13-V-2012, 雛倉正人採集・内田正吉同定.

1♂, 麻生区片平修廣寺付近, 9-V-2012, 雛倉正人採集・内田正吉同定.

1♀, 麻生区古沢, 13-V-2012, 雛倉正人採集・内田正吉同定.

コバネヒシバツタ *Formosatettix larvatus* Bey-Bienko ☆

1♀, 麻生区古沢, 13-V-2012, 雛倉正人採集・内田正吉同定.

多摩区東生田のハラヒシバツタの記録(雛倉・坂本, 2007)は、標本を再度見直したところコバネヒシバツタの誤りであった。7次報告書(雛倉, 2011b)にもそのまま引用されているので、訂正する。今回、内田正吉氏のご厚意により、川崎産の正しく同定された両種の標本を収めることができた。麻生区古沢では、病院周辺の道端の法面でハラヒシバツタが、雑木林の林縁でコバネヒシバツタが得られた。コバネヒシバツタの方がより森林的な環境を好む。

#### オンブバツタ科 Pyrgomorphidae

オンブバツタ *Atractomorpha lata* (Motschoulsky)

1♀, 多摩区生田緑地, 11-IX-2014, 川島逸郎採集.

#### バツタ科 Acrididae

ヤマトフキバツタ *Parapodisma setouchiensis* Inoue

1♂, 多摩区生田緑地, 16-VII-2012, 永井一雄採集.

1♂1♀, 麻生区黒川海道緑地保全地区, 26-VIII-2011, 雛倉正人撮影.

麻生区の記録は、湿地を囲う柵のロープで交尾していたもの。

ツチイナゴ *Patanga japonica* (Bolívar)

1♂, 麻生区早野, 30-IX-2012, 山本 晃採集. 1♂, 麻生区早野, 1-XI-2012, 山本 晃採集.

ハネナガイナゴ *Oxya japonica* (Thunberg)

1♀, 多摩区生田緑地, 6-IX-2014, 川島逸郎採集.

シヨウリョウバッタモドキ *Gonista bicolor* (de Haan)

1♂1♀, 麻生区早野, 20-VIII-2012, 山本 晃採集.

ヒナバッタ *Glyptobothrus maritimus maritimus* (Mistshenko)

1♂1♀, 麻生区早野, 30-IX-2012, 山本 晃採集.

トノサマバッタ *Locusta migratoria* (Linnaeus)

3♂, 麻生区早野, 30-IX-2012, 山本 晃採集.

クルマバッタ *Gastrimargus marmoratus* (Thunberg)

2♂, 麻生区早野, 20-VIII-2012, 山本 晃採集.

1♂, 麻生区黒川池谷戸緑地, 10-VIII-2013, 雛倉正人撮影.

1♀, 麻生区黒川よこみね緑地, 10-VIII-2013, 雛倉正人撮影・目撃多数.

本種は、7次報告書(雛倉, 2011b)で、市内のごく限られた場所で確認され、絶滅の危険性が高いと言及されている。実際、近隣の東京都では絶滅危惧 IA 類として扱われている(東京都環境局自然環境部, 2013)。しかし、今回麻生区の地理的に離れた2か所で確認されており、意外に広範囲に残っているようである。早野では寺院裏の草地、黒川近傍(町名でははるひ野になる)では住宅地に隣接した公園状の場所で確認されており、環境はいずれもシバ型草地である。はるひ野一帯は7次調査のときもしばしば訪れていたが未確認であり、生き残っていた少数個体が最近になって数を増やしている可能性がある。

クルマバッタモドキ *Oedaleus infernalis* Saussure

1♂, 多摩区生田緑地, IX-2014(日付不明), 永井一雄採集.

1♀, 麻生区早野, 20-VIII-2012, 山本 晃採集; 1♂, 麻生区早野, 30-IX-2012, 山本 晃採集.

イボバッタ *Trilophidia japonica* Saussure

1♀, 多摩区生田緑地, 4-X-2014, 川島逸郎採集.

## 考察

7次報告書で筆者が市内から確認できた直翅類は61種であり(古い文献記録2種および環境アセスメント資料の記録を除く)、今回、カマドウマ・オナガササキリ・マツムシ・カワラスズ・コバネヒシバッタの5種が追加されて66種になった。いずれも麻生区からのものであり、しかも商業地・住宅地近傍の記録を含む。そのほかにも、従来の記録地点から大幅に離れた場所の追加も数例あった。かわさき自然調査団および川崎市青少年科学館職員の活動拠点である生田緑地においても、種の追加を見た。川崎全般の直翅類の詳細像に近づくにはなお程遠いが、それだけに発見の楽しみも残されているといえよう。また、特に希少な種については、数年後そこに無事に生息しているかという、モニタリングの大切さも再認識させられる。

## まとめ

7次報告書で未確認の5種の直翅目を川崎市内から記録し、希少種を含む既知種の産地を追加し、それらの生息環境についてふれた。

## 謝辞

常日頃直翅類について種々のご教示を賜り、写真データも提供頂いた伊藤 元氏、ならびにヒシバッタ類の標本を同定いただいた内田正吉氏(いずれも日本直翅類学会)に感謝申し上げます。

## 引用文献

市川顕彦, 2011. 大図鑑以降の学名変更. ぱったりぎす, (147): 51-52.

環境省, 2015. レッドデータブック 2014 -日本の絶滅のおそれのある野生生物-5 昆虫類. 509 pp. (株)ぎょうせい, 東京.

日本直翅類学会, 2006. バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑. 687 pp. 北海道大学出版会, 札幌.

東京都環境局自然環境部, 2013. レッドデータブック東京 2013 -東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)解説版. 655 pp.

雛倉正人, 2011a. 川崎市東扇島の埋め立て地におけるヒガシキリギリスの生息. 川崎市自然環境調査報告VII: 154.

川崎市教育委員会・特定非営利活動法人かわさき自然調査団.

雛倉正人, 2011b. 川崎の直翅類. 川崎市自然環境調査報告VII: 189-203. 川崎市教育委員会・特定非営利活動法人か

わさき自然調査団.

雛倉正人・坂本憲一, 2007. 川崎市北部の直翅類の記録. 川崎市自然環境調査報告VI: 260-266. 川崎市教育委員会・特定非営利活動法人かわさき自然調査団.

和田一郎, 1984. 多摩ニュータウンの直翅目 2. ぱったりぎす, (58): 1815-1818.

